

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 5月 8日

事業所名 はぐハウスⅢ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動にあわせ工夫しています	スペース確保のため、整理整頓は常に行っています
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基準以上の専門職員を配置しています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	整理整頓を常に行い、棚の配置は児童安全に配慮し工夫しています	バリアフリーにして、自分で動ける児童は好きなものを入れる引き出しを作っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	消毒掃除を徹底して行い、安全に配慮した空間になるよう物の配置、数を考えています	安全な空間にしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	業務効率化を進めるために話し合いをしています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の方の希望や意向を確認し会議などで話し合い共有しながら改善に努めています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページ等で公開しています	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	施設内外研修への参加をして、資料を基に施設内研修を実施しています	施設外研修に積極的に参加し、情報共有しスキルアップに努めます
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	88%	13%	保護者の方と定期的な連絡をとり、ニーズの把握をモニタリングを行っています	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	独自のアセスメントツールを使用しています	全員で共有するよう努めます
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	発達支援を中心に具体的な内容で設定しています	
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	定期的な確認を行い支援計画に沿った支援を行っています	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士・理学療養士を中心に行っています	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	特性に合わせた療育に工夫をしています	季節を感じる事が出来るように工夫している
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	100%	0%	発達、特性に合わせた児童発達支援計画の作成をし、集団の活動に取り組んでいます	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日朝礼を行い、一日の支援の確認をしています	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終了時間が一定ではないですが、記録を行い申し送りを行っています	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の記録を徹底して行い、情報交換、共有を行っています	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	必要に応じモニタリングを行っています	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者に限らず状況に合わせた必要と考える者が参画しています	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	必要な情報の取得に努めています。また連携を図っています	
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	他事業所、関係機関との情報交換、共有を行い連携に努めています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療情報連携用紙にて連携を得ています	
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	送迎時、担当者会議等で情報交換、共有を行っています	
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	送迎時、担当者会議等で情報交換、共有を行っています	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	機会があれば積極的に参加しています	積極的に機会を持っています
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	75%	25%		積極的に機会を持っています
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%		積極的に機会を持っています
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送り等で情報交換、共有を行っています	
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っています	
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	児童発達支援計画案を提示し、それに基づいた児童発達支援計画書を作成し保護者様に説明、同意を得ています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様と連絡をとり、必要に応じた助言ができるようにしています	
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談や申し入れには迅速に対応しています	相談や申し入れがあった際は、職員間で話し合い、保護者様へ周知、説明を行っています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月のおたよりの作成、必要に応じたお知らせを発行しています。またホームページにも公開しております	お便りの内容に工夫を行い、活動や職員の紹介なども取り入れている
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人情報を安全に管理しております	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	自己の意思決定の表出、表現できるように支援しています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		検討しています
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	契約時に説明しています。また職員、児童、保護者の方も参加で定期的な訓練を実施しています	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	職員、児童、保護者の方も参加で定期的な訓練を実施しています	避難訓練を定期的に行っている
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	個人カードを作成し利用時すぐ確認できるよう工夫しています	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師からの指示書をいただき保護者からも聞き取りを行っています	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全員が積極的に取り組み事例検討を行っています	その都度作成している
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	外部研修への参加、施設内での研修を行っています	
44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	支援計画への記載と職員間での検討、保護者への説明と確認同意のもと行っています		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。